

No	項目	合格条件	期間	1週目					2週目					3週目					4週目					5週目					6, 7週目					8 ~ 13週目					14, 15週目				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26 ~ 35					36 ~ 65					66 ~ 75				
1	ステップ 1 定期連絡と状況報告の確認	・期間中に定時連絡を1度も欠かすが無ければステップ2へ。 ・報告忘れが1度だけの場合、リカバリーの行動が取れていれば合格 ・2度以上の報告忘れは、即不合格として復職プログラム中止再び休養に専念。	10日	▲復職者の話を聞く																																							
	A 自分の状況を簡単にまとめ、決められた時間にメールで報告		3日																																								
	B 何か課題うを持たせ、朝9:00に前日の状況と課題の達成状況をメールで連絡。		4日																																								
	C Bの報告と夕方に電話報告。もしくは朝夕2度の目0るでの定じ連絡		3日																																								
2	ステップ 2 通勤テスト	・報告の有る理由ある遅刻、欠勤、があった場合、1日だけであればステップ2のやり直し、もし2日以上になったり、やり直し期間中にまた遅刻、欠勤、が発生した場合、復職プログラム中止。	5日																																								
	12:00に会社、通勤の様様や感想などを報告して帰宅。		5日																																								
3	ステップ 3 出社テスト	・期間中に1度も遅刻、欠勤、早退が無ければステップ4へ。 ・報告の無い理由なき遅刻、欠勤、早退の場合復職プログラム中止。	5日											▲復職者と話し合い																													
	朝 9:00に出社12:00まで自由行動、業務は行づ、報告書作成の後、帰宅。		5日																																								
4	ステップ 4 業務テスト	・期間中に報告の有る理由ある遅刻、欠勤、早退があった場合、1日であればステップ4をやり直し、もしやり直し期間中に再び遅刻、欠勤、早退が発生すした場合即復職プログラム中止。	5日											▲復職者と話し合い																													
	朝 9:00に出社12:00まで担当者の下で軽作業、報告書作成の後、帰宅。		5日																																								
5	ステップ 5 業務リハビリ	・期間中に遅刻、欠勤、早退があった場合、4日未満であれば、検討の末、ステップ6か、ステップ5の延長。 ・期間中に遅刻、欠勤、早退があった場合、5以上日であれば即復職プログラム中止。	40日											▲復職者と話し合い																													
	A 朝 9:00に出社15:00まで担当者の下で実作業、報告書作成の後、帰宅。		10日																																								
	B 朝 9:00に出社18:00まで担当者の下で実作業、報告書作成の後、帰宅。		30日																																								
6	ステップ 6 業務復帰試験	・2週間の現場の行動と面接の結果より、現場責任者との話し合いで決定する。 ・復帰が無理な場合は、ステップ5に戻る。	10日											▲復帰決定会議																													
	現場に入り朝 9:00に出社18:00まで実際の業務をこなしてもらいます。		10日																																								